

K O B E F U K U S H I

神戸を

福祉の街に

&lt;247&gt;

K O B E

F U K U S H I

スライドを使って  
解説をする行天氏

橋本 明

(社団法人家庭看護  
促進協会事務局長)

## 日常生きた場所で人生を完成させるために

最近、癌の末期患者等を中心に人生の最後の時間をどこでどんなふうに見とるのか、という関心が高まり、ホスピスや在宅ケアに関する研究や活動があちこちで行なわれるようになってきた。

医師であった私の父も癌で亡くなったが、最後の一カ月程を病院で介護した日以来、ターミナルケアの在り方に強い関心をもつようになった。

私は父に付き添っている時、患者の家族として三つの事を思った。一つは、父が最後の時を迎えるまで家族としてできるだけのことはしたいという事。二つめは、できるだけ長く生きてほしいという事。三つめは、苦痛を最少限にしてほしいという事、だった。しかし、最後の時間が近づく程に父の苦痛は耐え難いようになり、死の三日前にはしんどくて夜の間はまったく眠れず、朝を迎えた時に「ああ、また一日こんなしんどい思いをせんならんのか」とつぶやいた言葉は私にとっては何よりも胸の痛む思いだった。というのは、長く生きてほしいと願えば、それだけ苦痛は増すため

に、私の二つめと三つめの願いは相矛盾してしまうためだった。家族も患者と共に辛い時間を過ごすわけだが、誰もが迎える人生のこの大事な終末をどのようにすれば豊かな時間にできるのか、が今問われているのである。

神戸に「完成期医療福祉を進める会」(代表/河野博臣)というグループがある。五年前に発足し、毎年二回「神戸フォーラム」を開き、実り豊かな人生の終わり方を医療や福祉の面から研究している。「終末期」や「ターミナル」という表現はイメージも暗く、マイナスのイメージもあるし、終末期だけに限定されるような意味をもたせないために「完成期医療福祉」と名称をつけた。つまり、人生の終りをその人の完成と考え、どうすれば人生の完成期を過ごせるかを支援すること、また現代のゆがんだ医療や福祉を修正し、完成した医療福祉を目指すこと、さらに社会、文化の完成をも目指すことがこの名称にはこめられている。

六月に神戸市産業振興センタービルで開かれた



シンポジウムではさまざまな立場から貴重な体験が報告された



「日常生活した場所で死んでいけるようにしたい」と挨拶をのべる河野博臣代表



「介護をする人をどこでどのように求めるかが最大の課題」と話すNHK解説委員の行天良雄氏

第八回神戸フォーラムのテーマは「人生の完成期と在宅ケア」だった。この日の特別講演では、医師であり、NHK解説委員でもある行天良雄氏が「生かした生かせる生きからよい死に方に演出する」という演題で医療と死の問題について報告をした。「昔、死というのは病氣と隣りあっており、戦争中は死は運であった。在宅死などは当り前の

ことだったが、昭和五十六年頃から在宅死から病院死へと比重が移っていった。しかし入院すると病院の流れ作業に乗らざるを得ないため、検査と診断でずいぶん時間がかかるし、誰が死を決めるのかといった問題が起ってきている。天寿癌という言葉の方があがるが、癌は老化の一つでもあり、百まで生きて癌で死のう」という合言葉が生まれてくる。

癌のピークを八十代にもっていく努力がこれから続けられるだろう。日本は今年の五月に高齢化率が十四％を越えたが、これは出生数の激減のために高齢化を加速し、政府のゴールドプラン計画より実態の方が速く進んでいる。一週間前に北欧の医療福祉を見てきたが、あちらは他人に頼る在宅ケアで日本は身内に頼る在宅ケアだ。今後のわが国では介護をしてくれる人をどこでどのように求めるかが最大の課題」と結んだ。

そのあと、在宅看護を実践している看護婦、母親を癌で亡くした医学生、90歳の痴呆の老父を自宅で介護した65歳の男性の体験などがシンポジウムで報告され、参加者からも活発な意見や質問が出された。シンポジウムの看護婦は、何人もの末期患者を自宅で看取った経験から「看護婦としての仕事より、私は家族の傍にいたいだけ。その安心感が患者にとっては大事に思う。家こそ死を迎え、人を完成させる場所であり、医療者もそこで家族の一員になり、癒し癒されるのです」と話した。

日常生活した場所で死を迎え、人生を完成させるにはまだまだ多くの困難な現実がある。しかしそれを実現させるための模索が今さまざまなに続けられている。

祝／月刊神戸っ子400号記念

# 暑中御見舞い申し上げます。

1994年 盛夏



小磯良平 二人裸婦 V

## 神戸市立 小磯記念美術館

〒658 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL (078) 857-5880

■開館時間／午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日／月曜日・9/16

企画展 小磯良平の描いた

薬用植物画展 ①

同時開催 収蔵作品展 Ⅱ

’94 7月12日(火) ▶ 9月25日(日)



<p>兵庫県いけばな協会</p> <p>会長 吉田 泰巳</p> <p>神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県生活文化部芸術文化課内 TEL 078-341-7711 内線 2851</p>	<p>財団法人 小原流</p> <p>理事長 小原規容子</p> <p>神戸市中央区東川崎町 1-7-4 ハーバーランドダイヤニッセイビル18F TEL 078-360-0871</p>	<p>丹波焼延年窯</p> <p>市 野 弘 之</p> <p>多紀郡今田町上立杭 TEL 0795-97-2212</p>	<p>須 磨 寺</p> <p>管 長 小 池 義 人</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町 4-6-8 TEL 078-731-0416</p>
<p>専正池坊家元</p> <p>諸 泉 祐 陽</p> <p>神戸市東灘区住吉山手 3-2-21 TEL 078-811-1601</p>	<p>佳生流華道</p> <p>家元 西村 雲華</p> <p>神戸市中央区野崎通 3-3-21 TEL 078-221-6239</p>	<p>神戸焼・末汎窯</p> <p>南 汎</p> <p>神戸市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244</p>	<p>須 磨 琴 保 存 会</p> <p>小 池 美代子 三 浦 徳 子 山 崎 八重子</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町 4-6-8 TEL 078-731-0416</p>
<p>大和楽 蘭の会</p> <p>代表者 大和三千世</p> <p>神戸市中央区中山手通 7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>みやび流押絵</p> <p>家元二代目 小 西 絹 甫</p> <p>芦屋市公光町 3-15 TEL 0797-34-1001</p>	<p>ギャラリー and 珈琲サロン 兜 子 館 プチコンサート・小パーティ企画 赤 尾 徳 也</p> <p>神戸市東灘区御影山手 1-13-4 TEL 078-811-0760</p>	<p>関西日印文化協会</p> <p>会長 桑原 泰業</p> <p>神戸市北区鈴蘭台東町 9-7-26 TEL 078-591-5633 FAX 078-593-8857</p>
<p>吉 鈴 会</p> <p>若 柳 吉金吾</p> <p>神戸市中央区楠町 5-1-7 TEL 078-341-6832</p>	<p>若 由 会</p> <p>若 柳 吉由二</p> <p>神戸市垂水区平磯 4-2-3 TEL 078-706-0113</p>	<p>花柳流 日本舞踊 秀 美 会 花 柳 吉 叟</p> <p>神戸市兵庫区西多聞通 2-4-3 TEL 078-575-7413</p>	<p>神戸尺八研究会 心 和 会 会長 木村 心鯨 講師 中村 心瞳</p> <p>神戸市中央区琴緒町 3-2-12 TEL 078-222-9130</p>
<p>日本舞踊 花 柳 流 花 柳 小三郎</p> <p>神戸市灘区箕岡通 4-2-5 TEL 078-802-0030</p>	<p>日本舞踊 花 柳 流 花 柳 五三輔</p> <p>神戸市長田区西山町 4-7-11 TEL 078-621-3209</p>	<p>女流義太夫 神 代 初 美</p> <p>神戸市兵庫区新開地 4-3-1-301 TEL 078-371-0265</p>	<p>「女流文楽」人形浄瑠璃 吉 音 会 代表 野澤 吉三</p> <p>芦屋市翠ヶ丘町11-43-311 TEL 0797-31-7021 FAX 0797-34-5573</p>

祝／月刊神戸っ子400号記念

# 暑中御見舞い申し上げます。

1994年 盛夏



小磯良平「二人裸婦」V

## 神戸市立 小磯記念美術館

〒658 神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL (078) 857-5880

■開館時間/午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

■休館日/月曜日・9/16

企画展 小磯良平の描いた

薬用植物画展 ①

同時開催 収蔵作品展 Ⅱ

'94 7月12日(火) ▶ 9月25日(日)

<p>能楽観世流</p> <p>職分 藤井 久雄</p> <p>神戸市中央区熊内町2-1-20 TEL 078-221-5144</p>	<p>神戸マリンパソサエティ</p> <p>宮 本 慶 子</p> <p>神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL 078-821-6838</p>	<p>貞松・浜田バレエ団・学園</p> <p>主宰 貞松 融・浜田 蓉子</p> <p>神戸市灘区畑原通3-6-6 TEL 078-861-2609</p>	<p>学校法人 行吉学園</p> <p>神戸女子大学 神戸女子短期大学 神戸女子大学瀬戸短期大学</p> <p>理事長 行吉 哉女</p> <p>神戸市中央区港島中町4-7-2 TEL 078-303-4700</p>
<p>萬葉集と短歌の会</p> <p>代表 飛松 實</p> <p>神戸市須磨区離宮前町1-6-23 TEL 078-731-5449</p>	<p>“日本の心をうたう”</p> <p>声楽家 足立 輝代</p> <p>西宮市下大市東町15-5 TEL 0798-52-0004</p>	<p>神戸ハワイアン倶楽部</p> <p>会長 田端 基宏</p> <p>神戸市中央区下山手通2-12-3 関西西宮信用金庫内 TEL 078-332-5151 FAX 078-333-9874</p>	<p>神戸フィギュア スケーティングクラブ 神戸ポートアイランド スケートクラブ</p> <p>会長 上野 衣子</p> <p>神戸市東灘区森北町6-6-13-201 TEL 078-412-7001 078-413-1250 FAX 078-452-7017</p>
<p>一東書道会</p> <p>会長 井茂 圭洞</p> <p>神戸市兵庫区大開通2-1-6 大塚ビル6階 TEL 078-577-1001 FAX 078-577-8567</p>	<p>STUDIO <b>WIND</b></p> <p>スーパー・エトワール 風かおるシャンソン教室</p> <p>主宰 風 かおる</p> <p>神戸市中央区北長狭通3-12-15 トアロード 日経ビル4F TEL 078-321-1820</p>	<p>女声アンサンブル エコ・エレガント代表 女声合唱団 エコ・エレガント代表</p> <p>声楽家 有川 隆子</p> <p>平成6年9月25日30周年リサイタル 大阪音大カレッジオペラハウスにて 神戸市灘区青谷町4-1-11 TEL 078-861-8766</p>	<p>学校法人 コンピュータ総合学園 神戸電子専門学校</p> <p>理事長 福岡 富雄 校長</p> <p>神戸市中央区山本通1-6-35 TEL 078-242-0014 FAX 078-242-0038</p>
<p>山 村 流</p> <p>山 村 芳 彰</p> <p>神戸市兵庫区福原町30-13 TEL 078-575-2225</p>	<p>木 形 はちのす会</p> <p>会長 渡辺 一生 副会長 渡辺 二笙</p> <p>西宮市千歳町4-12 TEL 0798-23-3300</p>	<p>オリジナルフラワー ミモザグループ</p> <p>主宰 佐藤 悦枝</p> <p>神戸市中央区下山手通5-8-14-703 TEL 078-341-5605</p>	<p>Planning Music Systems Co, Ltd プランニングミュージック システムズ Co, LTD</p> <p>マルチメディア・コーディネーター 芦 沢 魁 作</p> <p>宝塚市雲雀丘山手1-14-4-310 TEL 0727-57-1360</p>
<p>米田フォト</p> <p>米 田 定 蔵 米 田 英 男</p> <p>神戸市長田区池田町11-10 TEL 078-691-3547</p>	<p>社団法人 神戸港振興協会</p> <p>神戸市中央区波止場町2-2 TEL 078-391-6751</p>	<p>潤いと安らぎへの提言と行動 神戸港を考える会</p> <p>代表 鉄尾 三郎</p> <p>神戸市中央区下山手通3-1-18 月刊神戸っ子編集室 TEL 078-331-2246 FAX 078-331-2795</p>	<p>港まち神戸を愛する会</p> <p>竹 山 清 明</p> <p>神戸市中央区海岸通3番地 海岸ビル3F 生活空間研究所内 TEL 078-392-5057 FAX 078-392-5038</p>

# 神戸オレンジサッカークラブニュース



## 神戸のプロサッカーチーム

## 愛称大募集!

神戸オレンジサッカークラブでは来春より発足する神戸市プロサッカーチームのチーム名を募集。サポーター予備軍のあなた、とびつきりポップで、おシャレな名前を考えて、応募してみませんか!

### 募集要項

#### ■応募内容

##### ①愛称名

「神戸」という地名を、愛称の前後どちらかに入れ、カタカナで考えください。

神戸○○○○または△△△△神戸(字数は自由です)。

##### ②愛称の理由

お考えいただいた愛称の意味や、理由などをお書きください。こんなチームをつくってほしい、こんな選手を入れてほしいなど、チームに対する要望などがございましたらお書き添えください。

#### ●応募方法

官製ハガキに必要事項を記入の上、ポストへ投函。

(ご注意)お一人様何案でもご応募いただけますが、

一枚のハガキに一案のみご記入ください。

又、市内各所に応募箱・応募用紙も設置いたします。

設置場所 ①さんちか インフォメーションこうべ

②ハーバーランド 総合インフォメーション ③王子動物園 ④須磨海岸 KISS FM 野外スタジオ(トリコロール) ⑤西神ブレンテイ  
以上五カ所を含む計約二〇カ所

#### ●必要事項

住所・氏名・性別・年齢・電話番号・職業(学校名)

●応募締切 平成六年八月三十一日(水)(当日消印有効)

●応募先 〒651-01 神戸市神戸港郵便局私書箱221号

※神戸オレンジサッカークラブ 愛称募集事務局宛

●賞品 応募者全員の中から、下記の商品を抽選で進呈いたします。

★MVP賞:「サッカー発祥の国・イギリス旅行」へペアで一組ご招待。

★ストライカー賞:「95 JFLホームゲームシーズンチケット」をペアで五〇組一〇〇名様にプレゼント。

★サポーター賞:「チームオリジナルテレフォンカード」を、一、〇〇〇名様にプレゼント。

●発表 チーム名は、平成六年九月中旬新聞紙上等にて発表を予定しています。なお、MVP賞、ストライカー賞、サポーター賞は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

■愛称の著作権等は、すべてチームが所有するものといたします。

★JFL川鉄VS京都パープルサンガ戦

日時 九月一日(木) 午後六時三〇分キックオフ

場所 神戸市立中央球技場

主催 関西日本サッカー協会/JFL

主管 兵庫県サッカー協会

料金 大人 一、二〇〇円 中学生以下 七〇〇円



□神戸百店会インタビュー

## 次代へとつながる

## “神戸らしさ”の見直しをしたい

永田 良一郎（神戸百店会会長）

——この八月号で月刊「神戸っ子」は創刊四百号を迎えました。日頃「神戸っ子」に多大なお力添を頂戴しまして、ありがとうございます。

永田 四百号おめでとうございます。神戸の歴史と共に歩んできた雑誌ということで、私共地元の商店主として「同志」のように喜ばしく思っております。

——永田さんには確戸百店会の会長をお願いしていますが、最近の専門店の動きはどうですか。

永田 神戸の専門店も、今はちょうど世代交代の

時期を迎えております。昔は自ずからハイカラが

神戸の専売特許で「神戸」と名前が付くだけで商品が売れるという事もありましたが、今はそれだけではやっていけません。ハイカラな匂いを強調しつつも、神戸ブランドの見直しをしてゆく必要があると考えます。情報社会の中、日本国内どこでも同じ商品が入る今こそ、神戸に來なければ手に入らない、神戸に來たから欲しくなった、というものを我々専門店はめざしてゆくべきだと思います。

——神戸らしさの再発掘ですね。

永田 正にその通りです。百二十年前に開港した神戸は外国の様々なものに直にふれました。我々はそこから出発をしたのですから、本物に対する目は肥えているはず。そのプライドは保ちつつ、今の時代にマッチした経営を展開してゆかねばなりません。私の父親の代の昭和九年頃、元町を中心に十の店が有志でその名も「神戸っ子」という雑誌を作っていたことがありました。それこそタウン誌の先駆とでもいうものですが、この気概こそが今、我々に必要だと思うのです。



永田良一郎 神戸百店会会長



## SPECIAL MESSAGE

### 神戸百店会だより



## NEWS

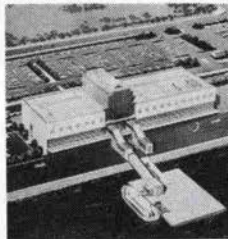
★9月4日オープン

ポートアイランドに

新名所が誕生!

神戸と関西国際空港を結ぶ最短の海上アクセス、「神戸マリノルート」。そのターミナルとなるK-CAT (神戸シティエアターミナル) 内に、ポートピアホテルがレストランを3店出店する。

コーヒESHOPP・サンマロ(2階)は、海に向かって広い窓があり、デザインはネオクラシック調。自



K-CAT

然の色彩でまとめたお洒落で明るいレストラン。厨房から3階、4階へダムウェーターがあり、3階の特別待合室での壮行会などへの対応も出来るようになっていく。同じく2階、和食・やわらぎは、木の暖かさで演出されたシックなレストラン。オープンキッチンになっている、白と黒を基調とした店内。3店舗目は、4階展望ラウンジ・エトワール。4階部分は、建物の中央部に飛び出したように造られ、周りはガラス張り。送迎デッキが周囲にあって中央部が一段高くなっているが、この部分がエトワールになる。送迎客の想い出のひとときに、また、ナイトスボットとしても利用できそう。

来月をお楽しみに!

## GALLERY

★魂に届く絵

ゴッフルアルデア北野・4Fアートギャラリーにおいて、8月3日から21日まで、東アフリカの現代作家と生活アート展が開催された。今回は特に、ケニアを中心活躍している若手作家から巨匠までの7名の作品を展示。どの作品から



ジョン・ジェンガ作

も、それぞれの作家の内面が感じとれる。赤道直下の国アフリカのイメージとは少し違う、透明感あふれる静かな作品が多い。社会情勢の不安、悲しみを抑えた中での、明るさ、ユーモアは、私たちに、真の強さを教えてくれる。

素直で美しい感性は、言葉を超えた世界の扉を開くきっかけに。

## SUMMER FAIR

★とっておきの味

ホテル全但では、ただ今夏の特別企画で。生ビール飲み放題とお料理取り合わせのサマーくつろぎセット「花水」は、シングル券3650円、グループ券・



北の海の香り漂う北前会席

11枚綴りが36500円。要予約。5名様以上でお申し込み下さい。(チケット制)  
一席・2時間:レーザーカラオケも付いています。味わいのある夏に。



サマーくつろぎセット「花水」

# PEOPLE <126>



## ●帽子の魔術師

山口 巖さん<株式会社マキシン 専務取締役>  
企画・製造本部長  
マキシンに入社して、今年で41年目。デザインをしながら、制作もする。帽子づくりにおいては、日本の第一人者と言ってもよい。「人間の大切な部分、頭にかぶるものですから、決してぞんざいには扱えません」。まず、お客様の事を考え、「気持ち」を大事にする。心あたたかな、「創る人」だ。

## OPEN



▶ひときわ目立つ外観  
▼淡いピンクがきれいな店内



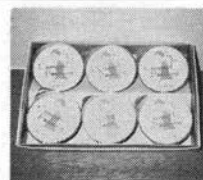
## ★北野ミセスモロゾフが7月20日にオープン!

北野通りに、モロゾフが新しいお店をオープンしましたその名も「ミセスモロゾフ」。地下1Fは、菓子工房・ベーカーリー。できたての品々がずらりと並んでいます。焼きたてのパンの匂いに思わずたれてしまいそう。2Fは、カフェ・レストラン。北野のおしゃれな街並を眺めながらのティータイムはいかがですか。菓子工房でつくられたオリジナルケーキ、クロワッサンサンドをはじめ、手打ちパスタやラザーニャなど、メニューも豊富です!

■神戸市中央区北野2丁目10-4  
電話078(221)8151  
夏(4月10月)10時19時  
冬(11月3月)10時18時  
定休日 毎週水曜日

## PRESENT CORNER

▼応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区下山手通3丁目1-18ウインストア4F「月刊神戸」子、神戸百貨会プレゼント係まで応募下さい。8月末日消印まで有効です。当選者には神戸「子」から当選葉書を発送、葉書を持って神戸「子」まで、プレゼントを受け取りにお越し下さい。



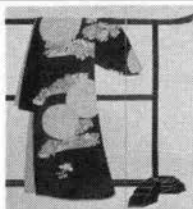
## ▼モロゾフより「カラメル」をプレゼント

上欄で紹介した北野ミセスモロゾフでしか置いていないこの商品。6個入(¥1500)を10名様にプレゼントします。ミセスモロゾフのロゴが入ったパッケージは、かわいくて新鮮なプリンのおいしさは、ご承知の通り。どしどしご応募ください。

## TOPICS

### ●ホテルゴフルリッツ

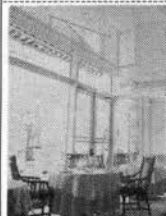
ファッションサロン講座  
「小袖屏風を作った男」野村正治郎」と題して、国立歴史民俗博物館員・丸山伸彦さんの講座が開かれます。小袖屏風と、その制作者野村正治郎に焦点を当て、制作の意図や屏風の成立などについて、お話しいただきます。



日時 9月10日(土)  
18時30分~20時  
会場 ホテルゴフルリッツ  
15F  
参加費は2000円で、お茶と和菓子がついています。  
■お申込みは電話で  
ホテルゴフルリッツ  
078-303-5555

### ●ポルト・ホテルよりお知らせ

この夏休み、南館4F・テラスレストランレヴアンテでは、朝食バイキングをお楽しみいただけることになりました。南館リゾートを思わせる光と風の中で、爽やかなひとときをお過ごしください。  
期間 8月1日(月)~31日  
(水)午前7時~11時  
料金 大人1800円/3才  
~幼稚園児900円/2才以下無料  
メニューは、和料理・肉類・野菜料理・サラダコーナー・フルーツコーナー・パン・ホームクッキー(朝粥とお漬物・味噌汁・冷やっこ)・お飲み物に分かれており、いろいろお好みに合わせて選んでいただく形になっています。  
屋外テラスもご利用を。







坊や年ごろになる黒人の彼女ができる。

淀川長治  
映画評論家



俳優  
ロバート・デ・ニーロの  
初の監督及び主演作品

おびただしい多くの映画に出演してきたロバート・デ・ニーロ（五十一才）が、初めて監督をした。マーチン・スコッセシ監督の「タクシー・ドライバー」イタリアのベルトルッチ監督の「1900年」（ともに一九七六）のころは新鮮だった。鼻の大きな目の小さな口のひんめくってその顔は日本の古き歌舞伎絵のあの写楽の「役者絵」に似ている。その彼のおびただしい作品を見つづけているうちにジャック・ニコルソン同様にオーパー・アクトで胸くそが悪くなってきた。とくにペニー・マーシャル監督の「レナードの朝」（九〇）の病人の演技のひつこさはたまらなかった。そう思っ……こんどの

監督作品に用心の腰のベルトをしめて見た。

ところが意外とは失礼ながら、これが実にいい。デ・ニーロは自分のものをここに初めて見せた、というよりも見せたかったのであろう。グッド・テイスト。いい趣味だった。

話は、浅草の小さな小屋の講談そっくりだった。いわゆる（人情モン）だ。

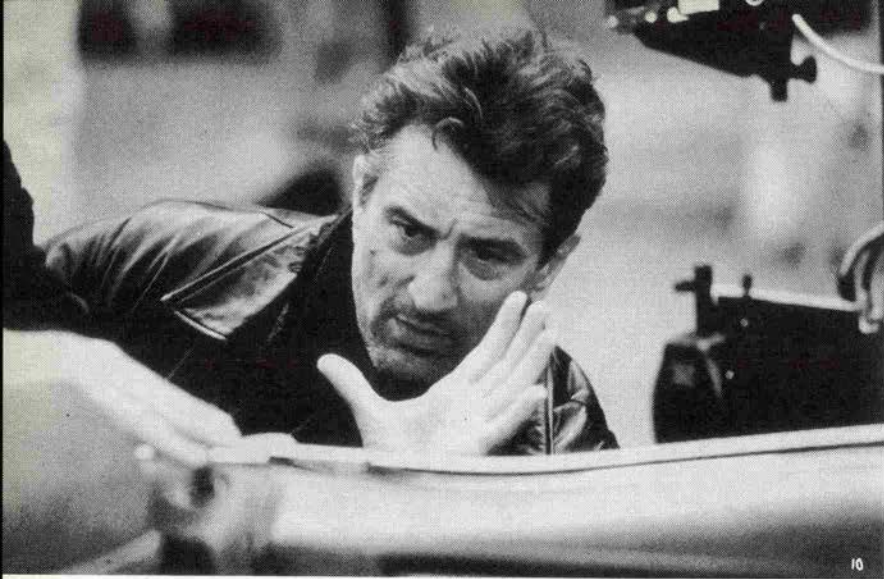
実はこれは、チャズ・バルミテンというブロンクス生れの芸人の脚本でこれを自分自身が舞台で（ひとり芝居）をしたのだという。ひとり芝居というからは一人で何役もやったのであろう。ひとりて語る人情講談か。

これをデ・ニーロが早くから目をつけて自分の映画にしたがついていた。このみがいい。

というのは舞台がブロンクス。マンハッタンの西側のイースト・リヴァーをはさんでここにブルックリンとブロンクスとクイーンズがある。ブルックリンは浅草だ。江戸っ子だ。ブロンクスはおっとり型の移民の多い下町人情の町。クイーンズは古き都市を誇りのおすまし屋サン。

というわけでこのブロンクスの下町ムードのそれも汚いせまっくるしい町のバスの運転手がデ・ニーロ。女房とのあいだに九才の坊や（フランシス・キューブラ）がいる。この坊や、面白がつて自分のアパートのすぐ近くのやくざの集りを覗きにゆく。ばくちのサイコロをころがすのを見ているうちに「坊主、おめえもやってみねえ」





「ブロンクス物語一愛につつまれた街」監督のロバート・デ・ニーロ

とボス株のソニー（これがこの映画の脚本を書き舞台でも上演し自分がひとり芝居をやった本人のチャズ・パルミンテリ）。ここでつけ加えたいのは九才の坊やをやる少年もこのチャズも本当にブロンクス生れ、そしてこのブロンクスにはイタリア移民が多い。イタリア移民といえばデ・ニーロの両親もイタリア移民。だからこの映画は本物のブロンクスなまり、それにイタリア移民のなまりを場面から聞くことが出来るわけ。

それでバスの運転をしながら我が子の心配。ところがその息子があのヤクザの親方がマフィアの喧嘩沙汰で相手のひとりを拳銃でぶっ殺したその現場を見ていたの

が、バスの運転手のあの九才の息子だ。それで警察がその子に犯人の名を聞いたがこの子ひとことも吐かない。ついに一言も吐かぬのでボスは助かった。

そんなことでこのボスは目にも入れたくらいこの子を可愛いがり愛しきった。父親のバスの運転手が心配で我が子を殴り飛ばしてあのボスのところへは行くなと、きめつける。

この映画、二人のおとつあんの映画、二人の親の愛。そしてこのブロンクスのごみだらけの下町のなかに咲いた人情の花。

デ・ニーロの趣味がわかってきた。私はこのデ・ニーロに初めて東京で逢ったのが、彼の「レイジング・ブル」（一九八〇）彼の三十七才のときだった。拳闘家の役なので毎日毎日うんざりするほどビフテキを喰べて体重を増しましたヨとニコリ笑ったあたり、いかにもやさしい役者ふぜいが感じられた。この日のホテルにはこの映画の監督のマーチン・スコセッシも来ていて同じ部屋だった。二人今や第一級監督も、この日、このホテルの部屋で、まったくおとなしい人だった。

デ・ニーロは「ミッシェン」（一九八六）のころからオーヴァ・アクト気味になってきた。「ミッドナイト・ラン」（八八）でも「俺たちは天使じゃない」（八九）でも「レナードの朝」でもいつも主演というより共演だった。ひとりの主演じゃないところから自然とオーヴァ・アクトの目立ち屋になリたくなったのか。

「レイジング・ブル」ではアカデミー主演賞、ノミネイトはずいぶん多い。

デ・ニーロはイタリア人だがニューヨーク生れのイタリア人移民の子だった。現在の夫人は黒人ということだが、そのまえの夫人も黒人の歌手だった。彼はイタリア移民の子という生れから世界すべて同じ（人間）を身にしみて実行しているのであろう。

こんどのロバート・デ・ニーロの監督作品を見て、これからは、楽しみだ。彼は映画をよく知っているぞ。

# ポケット ジャーナル



## ★竹村健一・上月晃

「講演とシャンソンのタベ」  
本誌掲載「夢対談」▽「新世紀を語る」でお馴染み、姫路独協大学教授・小室豊允氏が、竹村健一氏を迎えて講演と対談を行う。対談はサンTVの公開録画（小室豊允の次代を読む）となるため注目を集めそうだ。



竹村健一氏



小室豊允氏



上月晃さん

後半のディナーショーは  
シャンソン歌手の上月晃さん  
ら豪華な顔ぶれが出演。

初秋の夕べ、熱いトークと  
シャンソンに酔うことがで  
きそう。

◇日時 9月26日（月）15時開場  
◇会場 神戸オリエンタルホテル  
10F「真珠の間」  
◇入場料 1500円  
■お問い合わせ  
未来企画 078-271-9851

★神戸文化ホールフェステ  
イバルが、9月に

94年の市民が創る舞台芸  
術の祭典「神戸文化ホール  
フェスティバル」が9月に  
開催される。

●9/22（木）中ホール 2  
2、000PM6：30フラ  
メンコ舞踊公演で東仲一  
矩、淡谷和仁、藤田佳代の  
出演で「源氏物語・葵の上」  
振付けに上甲裕久が加わり  
スペイン舞踊が日本情念に  
挑む。

●9/24（土）中ホール入場  
無料PM6：30音楽は心の  
栄養ユニークな音楽家た  
ちの演奏会。安藤義則サン  
トリノレーバンド、南夏世、  
水澤節子、山崎繁、アンサ  
ンブルローザの出演。

●9/25（日）中ホール 2  
2、000PM2：00神戸  
のオペラガラ・コンサート  
／三室堯、田原祥一郎、日  
紫喜美恵、田中潤子、清水  
光彦、荒田裕子、坂本環、  
林剛一、濱崎加代子、安保  
淑子、山本裕一さんらの出  
演／大阪シンフォニカーを  
松尾葉子が指揮する

★94イタリア・ポロニア  
国際絵本原画展、西宮で  
絵本は本来、子どもたち  
が初めて美術の世界に触れ  
る機会。しかし昨今は読者  
層が大人にまで広がってき  
ている。



「うるさいおうち」ユッタ・ティム

北イタリアのポロニアで  
毎年開かれる「児童図書  
展」。28年目を迎えた「イ  
タリッシュンコンク  
ール」には、1400人以上  
も応募があり、81人が入選  
した。今回はその中から日  
本人2人を含む26カ国80人  
による399点の作品を展  
示する。また特別陳列とし  
て「90年代日本の絵本原画」

## ★誕生日ありがとう運動



私が出会った宝子たち（19）  
愛情が一番です Tさん

Tさんが初めて学園にきた時は  
学生服の詰め襟姿がとてもし似  
合って、それはそれは、きりりと  
引き締まっていた顔をしていたそ  
うな。

あれから十二年。

今では、年々増え続ける体重を持  
て余すように、ソファにドター  
と座り込んでくるか、外に出てド  
カッと腰を下ろして回りの草をむ  
しりながら、一日をのんびりとゆ  
たりと過ごしている。

にぎやかなことが嫌いで、行事  
など、大勢人が集まったり、カラ  
オケが始まると、耳をふさいで、  
静かな場所に移動してしまう。  
けれど演歌は大好きで、「おゆ  
き」をかけてやると、スート入っ  
てきてマイクを持って歌だらうた  
うとまた、その場から離れます。  
スーポーターとしている彼だけで、  
特技がひとつあります。

それはピアノ。十八番である  
「スキ」を、うたいながら弾い  
ている姿はまるで（少し太目の）  
クレディマン？ そんな彼にお  
母さんは口ぐせのように「Tには  
愛情が一番です。ゆったりと、  
のんびりとした性格はきつとお母  
さんの愛情の賜物。」

一にも愛情。二にも愛情。  
明日もね。

（N）

誕生日ありがとう運動本部  
〒651神戸市中央区御幸通

神戸国際会館一階郵便局の隣  
TEL・FAX  
078-211-2114



も紹介される。

印刷された絵本からは計り知れない、原画の持つ微妙な表現と輝きを感じることができなのが魅力だ。

◇会期 9月10日(土)・10月10日(月祝) 水曜日休館

10時~17時(入館16時半まで)

◇会場 西宮大谷記念美術館  
館内(0798) 33-01164

★中央区がメリケンパーク

で「海の盆」(8/20)

昨年開かれたアーバンリゾーフェアで、中央区は「神戸大盆踊り大会」が盛況だった後をうけて、今年新たに風の盆の向うを張って「海の盆」を、8月20日(土)の夜6時~9時にスタートさせる。

星間30万人の人口が夜間11万人になるという、夜と星のコミュニケーションひらばでもある。

プログラムは、成世晶平、西原和恵、華岡美恵、児玉利夫さんらの唄にのせて、誰でも踊れる大盆踊り。

「ユカタで踊る」コンテストは中央区の各グループがユカタでやぐらの上で踊り競う。

また外国人100人による国際盆踊り大会や、屋台、緑日バザーなど楽しい夜店も開かれる。

★神戸生まれの旅する画家

金山平三展 9月25日まで

中央画壇を離れ、信州・北陸・東北への旅に生きた金山平三。その風景画は金山調と呼ばばかない独自の表現となっている。

没後30年を記念し、半世紀を優に超える足跡を振り返る。また、亡くなるまで手元から離さなかった手造りの人形や、留学時代の絵葉書コレクションも併せて展示。芝居を愛し、文楽を愛し、旅を愛した画家の知られざる側面を紹介する。

◇会期 8月27日(土)・9月25日(日) 月曜日休館

10時~17時(入館16時半まで)

◇会場 兵庫県立近代美術館  
館内(078) 801-1591

★極楽寺の「愛染さん」祭

半世紀ぶりに開かれる

兵庫区の極楽寺といえは昨年9月に復活した「愛染明王」像で有名。これを機

に、52年ぶりの「愛染祭」が7月に行われた。

本堂では、信者ら約100人が日本一大きいという「愛染さん」に祈りをささげた。

その後は一転、桂吉朝さんの落語会が開かれ、半世紀ぶりの祭りは好評のうち幕を閉じた。これ以降も毎年開かれる予定。

★東ユースケとザ・G・サウンス、CDデビュー

甲南大学在学中に漫才で芸能界デビュー、現在はラジオ関西の土曜日深夜「東ユースケのサテスタ・ブギウギ」のパーソナリティー東ユースケ氏が、デビューCD「エメラルドの瞳」をリ



ザ・G・サウンス  
のフロントマン氏  
東ユースケ氏

リースした。'90年代のグループサウンドズとして、懐かしさとほろ苦さを感じさせてくれる。神戸の元天才プロボクサー浅川誠二氏に捧げた名曲「FOR THE CIL-DREN」も両A面として入っている充実した1枚だ。

発売元、キングレコード。お問い合わせ  
東ユースケとザ・G・サウンス  
事務局(0797) 77-12316

## ■神戸の本棚

★「コヒー」という文化

2年前にUCCコーヒーマuseum開設5周年を記念して開催された「国際コヒー文化会議」が本に



コヒーという文化  
コヒーという文化は、10ヶ国からの参加者が、生産からカップまでコヒー文化を総合的に語っている。17世紀にはヨーロッパの宮廷で日本の有田焼の器が用いられていたという話や日本独特の缶コヒー文化論など面白くてためになる話が満載。これ一冊読めば、世界のコヒー文化博士になれるぞ。

UCCコーヒーマuseum・編  
葉田書店刊・定価2500円

★「月曜日に、微笑みを。」

この素敵なタイトルはもと朝日新聞の論説委員だった扇谷正造氏が、社説の見出しに用いたもの。ブルー・マンダーの代りに、月曜日からさわやかな微笑みを浮かべることができれば、どんなに一週間が明るくなることだろう。

いわゆる「人間関係」をテクニク重視でなく、自分の心の問題として平易に説いている。一度しかないう人生「自分」をもっと輝かせて生きたい人に贈る一冊。

長尾 晃・著  
ばるす出版刊・定価1200円

★「写真集ヨーロッパの旅」

ジャンク堂サンパル店の展覧も好評だった神戸康史氏。今回は見て美しい風景や歴史的な建物が選ばれている。見るだけでヨーロッパの旅気分。本から取り外せばキャビネの額にぴったり入るサイズなのも嬉しい。定価580円



(左) 桂吉朝さん

(右) 明石孝成住職



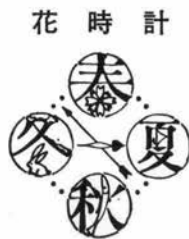
★満員になったら吊皮でどろろノ延歌の店はエエでエ  
マンガ家のたかはしもう  
さんは、流行って流行って  
満員の神戸のター坊が経営  
する「延歌」に珍案を提案。



もうさんとター坊

「電車の吊皮を店のインテ  
リアにしたらどやネン」。

さっそくに乗ってしまっ  
たター坊、北野坂の「延歌」  
の店の天井を工事して、吊  
皮も、新快速と市バスから  
調達。たかはしもうさんを



神戸センズ光る、元町

☆「元町120年」を記念し  
ての催しが次、次に行わ  
れている。いまから10年  
前「元町110年」の時には  
「元町ルネッサンス運動」  
が展開された。

オールドコウベの古き

招いてテープカットが行わ  
れた。「兵庫大佛ありがた  
や節」や、「海の盆唄」の  
新作でノッテイル神戸のタ  
ー坊は、満員のお客さんの  
前で新曲披露。延歌、演歌  
はホンマにエンヤデエ。

◇神戸中央区加納町4-7 神三ビ  
ル4F 電話 078-3321575  
★60歳以上の人を対象に  
「シルバー倶楽部」創刊  
「青春とはある期間を言う  
のではなく、心のもち方を  
言うのだ」とは、有名なサ  
ムエル・ウルマンの言  
葉。高齢者というマイナ  
スイメージで語られがちな  
世の中、そんなイメージを  
払拭しようと神戸、三田市

良き時代を象徴する、元  
町から脱皮して、新しい  
文化、ファッションの発  
信基地としてのニューモ  
ードの街、元町。  
元町ルネッサンス  
南には世界へ広がる  
北には緑香る諏訪山、  
東には旧居留地が  
異国情緒を漂わせ、  
西には老舗が軒を  
つらねる商店街が広がる  
そして未来へ！  
120歳の誕生日を迎えた  
今日、元町は、さらに明  
日への一歩を踏み出しま

神戸港、

の高齢者たちが「シルバ  
ー倶楽部」を結成した。

8月には同名の情報誌も  
創刊。投稿を中心に、文芸  
作品、税務や医療相談、飲  
食・衣料品の割引サービス  
など、シルバーエイジ向け  
の情報が満載。様々な特典  
が受けられる会員も募集  
中。定価700円。主要書



店で発売中。問い合わせは  
電話 078-3621495  
まで。

す。

かつて、海外からの外  
国文化を日本全国に発  
信、紹介する役割りを担  
ってきた街、元町。

今誕生120年を迎えて、  
新しい一歩を踏み出す街  
元町は、新しい神戸文化  
の発信地であり、お洒落  
でファッショナブルな神  
戸のセンズが光る、セル  
スが満ち満ちた街、それ  
が元町の本領でありま  
す。弓なりのしなやかな  
町すじは百年前と変らな  
いうねりだが……元町は  
力強く新しい。〈Y・Y〉

## ★ KOBE POST

★新星和不動産株式会社の平島一  
代表取締役社長が辞任され、股  
勝氏が後任として代表取締役社長  
に就任されました。平島氏は五月  
に就任された財団法人日本生命済  
生会理事長に専任されます。(7  
/1付)

★七月十一日に関西信用金庫と西  
宮信用金庫が合併。新しく関西西  
宮信用金庫(会長田端基安/理事  
長高山彦一/副理事長長野英二)  
が発足いたしました。

★日本郵船株式会社神戸支店長の  
安中琢平氏が、株式会社ユニエッ  
クス(東京)に勤務。後任に大山  
恵太氏が神戸支店長に就任。(7  
/1付)

★淡神文化財協会・財団法人のじ  
ぎく文化財保護研究財団(理事長  
・阿部嗣治)は、九月一日をもっ  
て平61神戸市中央区磯辺通四丁  
目二番二六号新美ビル18階に移  
転。(電話 078-2710461「協会直  
通」)(27/3991「財団直通」) F  
AX (078-2710460)

★(有)前田印刷工業所(代表取締  
役社長新田裕盛)は、七月一日を  
もって、(株)七旺社に改称。

★九月三日(土)宝塚ホテルにおい  
て、作家簡井康隆氏のほろ酔いラ  
イヴトーク「近況と想像」が催さ  
れます。ディナー 18:30/19:30  
トーク 19:30/21:00 料金 12、  
000円西館すみのの間/お申込  
み 0797(87)1151

★詩人のたかとう匡子さんが「竹  
内浩三をめぐる旅」を編集工房ノ  
アから刊行。定価1880円。

★足立勝氏の音楽生活35周年記念  
が八月二十八日(日)午後二時か  
ら、神戸朝日ホールで開催されま  
す。前売券3000円(当日券3  
500円)お問合せ/ブレーメン  
音楽研究所 07998(33)4737  
「プラノ/足立勝氏・ピアノ/足  
立りかさんが共演。

びっと・いん



★本格的な韓国の家庭料理から宮廷料理まで

「元気の素は美味しい料理とママの笑顔」。「お客様に喜んで頂くのが私の生きがいです」と語る美人の田さんの想いが一杯こもった伽倻の料理は全て天然素材を使用。一人一人の健康を考えて量や辛さを調節してくれるだからメニューもびっくりするほど豊富。特に人氣が高いのが石焼きビビ

注文できる。気取らずしかも上品に本場韓国から呼び寄せた調理師が作る料理が味わえるお店。「せっかく来て頂いたのにお待たせするのは申し訳ないので予約をして頂く方が無難です」と本場に親切な田さん。あなたも伽倻で韓国文化に触れてみては？元気になること間違いなし!!

伽倻 (KAYA)

中央区中山手通1-14-8 華東ビル1階 電話 078-333-7976  
11:30 / 15:00 17:30 / 11:00  
日曜・祝日休

★美味しい魚と美味しい地酒

四季折々の味わいを!

「料理は出会い。同じ

素材でもおいしい食べ方

を知ることによってその

人の好みの幅が広がりま

す」そう語るのは、長崎

は津島出身 漁師を父に

持つ魚菜料理たむらごの

主人。海で育っただけに

魚を見分ける目は確か。

「都会には自然がない。

だからこそ料理を通して季節を感じてほしいんです。」

旬のものを一番いいときに味わってもらいためにたむらごの献立は半月ごとに変わる。ひな祭りに



女流書家望月美佐さんの字が光る店内

は桜餅、七夕には流しそうめん、と忘れてかけていた日本の伝統を思い出させてくれる。評判のお昼の定食はコーヒーマ・デザート付きで1600円と嬉しいお値段。「おいしかったと喜んで頂くのが一番の楽しみです」尚予約をしておくとゆ

っくり味わえて安心!!

四季魚菜料理たむら

中央区中山手通1-7-19

電話 078-333-1268

11:00 / 14:00 17:00 / 21:00  
日曜・祝日休

★毎週火曜日だけのフ

ンチレストランパレット

ソフトなピアノで定評

のある中田実郎さんが、



ピアニストの中田さんと杉山シェフ(左)

中央区生田町のガーデンハウス1Fのスタジオを毎週火曜日だけのフレンチレストランとしてオープン。中田さんの見事な奥田善己さんのアートコレクションに囲まれたスタジオサロンの中で、シェフの杉山正彦さんが腕をふるい、グランドピアノのライブを聞くというリッチな雰囲気とフランス料理の味合いに、豊潤な気分。「完全な予約制で(前日迄)お一人様から十二名様迄でシェフのおまかせ料理コースが一万二千円です」と中田さん。また11月9日に映画百年に捧げる「映画音楽の夕べ」をフルオーケストラと岡田真澄の司会で、リサイタルを開く。

スタジオパレット

中央区生田町2-2-25 ガーデ

ンハウス1階 電話 078-231-2278 火曜日のみ営業 12:00 / 20:00



連載小説／第2回▽ 第18回神戸文学賞佳作

# イノセント! イモラル!

## マニィー

佐々木 湘

絵／土井 稔





お兄ちゃんに家庭教師が来るようになった。近くの教育大の三回生で将来は中学校の教師になるらしい。

スポーツマンタイプで、私の好み。ということはママの好みでもあるわけで、派遣会社の紹介で初めて家に来た時に、ママの視線にそれを感じた。高校時代サッカーの選手だったという塚本というその家庭教師は、日焼けした顔に真っ白な歯を見せて、

「昔からズボンのサイズが合わないで困るんです。ウエストと太ももがアンバランスで」

と笑った。私は思わず彼の太ももを見て、その自分の視線に気が付いて、みるみる顔が赤くなって、あわててソファを立った。

「ほんと、見事な脚ね。ちょっと触らせて」

とママの言葉を背中に聞くと私は髪の毛が逆立つほど恥ずかしくなった。

「ワァー固いわ。明彦もさわってごらん」

とママは屈託ない。

「この子も運動神経は人並み以上のくせに、何かに夢中になることが無くて」

ゆっくり階段を上がっていく私を抜いてお兄ちゃんが二階に走って上がってきた。

「明彦オ？ どうしたの？」

変な子ねエ、どうかよろしくね、とか言うママの声。

お兄ちゃんは廊下を変な歩き方をして自分の部屋に入って行った。後から塚本さんが二段飛びに階段を上がってくる。私と目が合うと、ニコッと白い歯を見せて、お兄ちゃんの部屋のドアをノックした。

「明彦君、入るよ」

ドアの隙間から、ベッドに座ったお兄ちゃんがチラッと上目づかいに塚本さんの顔を見ているのが見えて——ドアが閉まった。

その晩、久し振りで八時台の定期便がかかってきた。私は気になって、ママの仕事部屋のドアの前で耳を澄ませた。

ママは少し興奮していた。

「一昨日奥さんが来たわ。あんなことをされたら迷惑よ。ええ、ええ、そうしてよ、きつとよ」

電話はめずらしく早く切れた。ママが、とりつく島もないほど淡々としていたからだ。でも、受話器を置くや否やすぐまたベルが鳴った。

「ごめんなさい。使用中だったでしょう」

そうか、ママは別の電話を待っていたんだ。さっきの△定期便▽への応対とはうってかわって、艶っぽく優しいママの声。

「いつお会いできるの？ どうしてそんなに忙しいのよ。私の方がよっぽど重症だわ。心身症のね」

ドクターだ。私は直感した。細い筋の白髪が妙にセクシーなドクターの目を私は思い浮かべた。ママのからみつくような声はいかにも悩ましげだった。

「そうじゃないわ。お会いするだけでいいのよ。顔を見ているだけで……。そんなにいじわるするんだったら」

「患者」の振りをして病院に行くわよ」

急に涙声になった。が、長くは続かなかった。

「ごめんなさい。悪かったわ。無理言ってごめんなさい」

「え？ 本当？ いいの？」

ママの声が明るくなった。

「もちろんよ」

「わかったわ。じゃ」

受話器を置いてフフフ、と笑う声があった。私はドアから離れた。ママが、上機嫌の時いつもするように腰の上で後手を組むジュエスチャーが目に見えるようだった。

ママは本当にドクターが好きなんだ。私は確信した。じゃあ△大沢▽という人は？ 私にはよくわからなかった。多分ママが原因で夫婦がうまく行かなくなったんだ

るうけれど、ママは「大沢」さんにはずいぶん高飛車だ。愛してないんだらうか？でも愛してもいい人からの電話を拒絶しないのかしら。

わからない。中学二年の私には理解を超えていた。それに、ママが一番大事に思い、心底惚れ込んでいるのは、他ならぬパパであるのも、まぎれもない事実。

わからない。ママは、ちよつと変なのかしら。一度に三人の男を愛せるものなのかしら。

#### 四、

塚本さんが来るようになって、我が家の流れが変わった。火曜と金曜になるとママは六時前に帰って来て（今まで、七時より前に帰るのはとてもまれだったママが！）、ちゃんと夕飯を作ってから、七時半に来る塚本さんのために紅茶とケーキをセットしたりする。

お兄ちゃんは塾に行くのを半分に減らして、前よりかえって勉強するようになった——気がする。そして、鏡の前に居る時間が一層長くなった。

かく言う私も、塚本さんが玄関のインターホンを押すころになると時計ばかり気になって、タイミングよくホールを横切る用事を作って、不自然でなく彼に、こんばんわ、と言うチャンスを持つとする。私の部屋の壁に貼ってあったアイドル歌手のポスターは消え、代わりに、Jリーグの写真が所狭しと並ぶようになった。塚本さんの話題についていけるように「選手名鑑」なるものを買って、名前やポジションや特徴などを一生懸命覚えた。試験前でもここまでやらない。

初恋？

ママに、

「ねえ、『好き』というのと『恋する』というのはどうちがうの？」

と聞くと、

「そうねエ、『好き』っていうのは人その人と会ったと嬉

しいVって言うことで『恋する』というのは人その人と会えないとつらいVということかな」

ママにしたら名言だ。何かの受け売りかな。

ママの定義に従うと、私は生まれて初めて「恋した」ことになる。——会えないとつらい。

家中が塚本さんのことで色めき立って、一カ月が経った。そしてまた事件がおこった。こんどは私の身にふりかかった災難。

白井さん、と名乗る若い女の人から私あてに電話がかかった。私には覚えのない名前。電話に出ると、

「お嬢さん？」

「はい……」

「私、塚本さんの……友達です」

「はあ」

「ちよつとお話あるんですけど、お会いできませんか」白井さん、という人が塚本さんの、多分ガールフレンドだろう、つてことは直観でわかった。でも、それがどうしたんだろう。彼女、なんだか思いつめてるみたいで、もしや、とウヌボレ心が私の胸を横切った。

翌日学校の帰りに会う約束をして、その晩は眠れなかった。私は塚本さんに恋しているけれど、彼の心を確かめたことはない。いやそんなことあり得ないとハナから決めていた。塚本さんは「大人」で、中学生の私なんか子供あつかいして「女」として認めてくれない不快感は態度でわかる。

勉強してるかい、なんてボンと頭をたたいたり、ちよつとフェミニンな服を着ていたりすると、

「お、今日は『女』してるな」

なんていとも軽く言っただけ。声をかけられるのは嬉しいけれど、まるで子供扱いなのがみえみえで淋しくなる。

「体ばっかり棒っきれのように長くなって、曲線ばいラインにかけるわね、美香は」

ママはいつも私をしげしげと見つめて眉根を寄せるけ

れど、中学二年だもの、まだいいわ、と気にもとめないでいた。

でも、塚本さんに恋するようになって、お風呂あがり洗面所の鏡に写る自分の裸を見ると、やっぱり胸がもうちよっとふくれてたらしいのとか、ウエストがまるでなくてずんどうなのが、もの足りなくなってきた。

「美香、そのおかつぱ顔なんとかしなさい。ただでさえ顔が細長くてとげとげしてるんだから、髪をカールするとかさ」と、いつもママ。

「パーマは禁止なの」

「くせ毛です、とか何とか言えはいいのよ」

急に癖毛になる訳がないし、第一規則違反をすすめる親が一体どこにいるんだろう。

色々寝床で考えるとますます眠れなくなって、いつの間にか窓の外が明るくなってきていた。

朝、ふと思いついてカバンの中に電気カラーを入れ

て家を出た。

下校後、駅のトイレに入って前髪とサイドをカールした。ママの言っていることは正しかった。

鏡の中には、いつもと違う、とても大人びた私がい

た。  
第一ボタンをはずして、アームベルトをして、制服のブラウスを少し着くずした。ママがいつもしているように。

信じられないほどセクシーな私になった。

でもこんな格好、先生に見つかったら大変だ。おっかなびっくり改札口に行つて、「白井さん」を待った。

目印の黄色い紙袋を持った人は、改札口の前で、制服を着た学生を目で追っていた。ショートカットで健康的に日焼けした、塚本さんとても似合いそうな人。近づいていった私に、白井さんははっとして、上から下まで視線を流してちよっと赤くなった。

「宮内さん？」

「はい」

「すみません、呼び出して」

白井さんは私から目を離さずに言った。彼女とステーションの二階にあるバーラーに入つて、レモンスカッシュを注文した。

「高校何年生？」

「あ、いえ、中学二年生です」

「中学？」

白井さんの顔に一瞬、驚愕の色が走った。

「とても中学生には見えないわ」

「背だけやたら高くて」

「それにセクシーよ」

こんどは私が赤くなる番だった。にわか仕立ての色気は、シンデレラのように時間とともに消滅しそうで不安だった。

「単刀直入に言うわね。あなたが塚本さんのことどう思





「え」

あまり車刀直入すぎてたじろいだ。

「私達、付き合ってるの。二年になるわ。将来、結婚するかもしれないわ」

「そうですか」

トーンが急に沈んだのが自分でもわかった。

「でもね。最近彼の態度が変わったの。私といえどもね、妙に無口になったり、面倒臭そうだったり、会うのも億劫がったりするようになったの」

私は黙るしかなかった。

「それはね、考えてみると、あなたの家、宮内さんのところに家庭教師に行くようになってからなのよ」

「……………」

「初めは楽しそうに宮内家のことを話してくれてたわ。真面目な息子さんと可愛いお嬢さんと、それからとてつもなく明るいお母さんだつて。——でも、急に話さなくなったの。宮内さんちの皆さん元氣、って一昨日何気なく聞いたら、彼ね、顔色が変わったの」

私の心臓がドキン、と鳴った。

「ピンときたわ。宮内家に好きな人ができたんだつて。あなた、だつて。あなたのこと高校生だと思つてたから。でも、中学生でもこんなに大人っぽいんですもの、あり得るわ。彼、昔からあなたみたいなタイプの女、好きだったから」

「どんなタイプですか？」

私は、もうほとんどある確信を持って質問した。

「一見知的なのに、ふっと時々影のさすような、頼り無い女の人。ほっとくと何をするかわからないような人」ママだ。私は急に額や鬢のカラーがわずらわしく、アームバンドが腕になじまなくなった。頭が混乱した。

白井さんが私に嫉妬しているように、私はママに激しく嫉妬した。私をじっと見つめる白井さんの視線が急におぞましく、腹立たしくなってきた。私はいきなり立ちあがると自分でも驚くぐらい高飛車に言い放った。

「いいかげんな推測しないで下さい。そんなに大事な人だったら首に縄、付けておけば。一日中見張っていれば」私は後ろも見ずに、店を出た。

改札口を通過して、ちょうど入ってきた電車に乗り込んでも、私の胸の動悸はおさまらなかつた。怒りとも恥辱とも驚きとも定まらない、ある激昂が胸を吹き荒れていた。私の前に座っていた人が顔の前に新聞を立てたので、吊り革にぶらさがって一点をにらみつけていた自分の表情に気がついて、急に恥ずかしくなった。

駅に下り立った時には、がっかりしていた。塚本さんはママに恋しているのだろうか。私なんか相手にするはずがない、と思っていいたらやっぱり……………。

放心状態で家までたどりついた。いつも大体私が一番に帰るので、習慣でカギを出してドアを開けた。

見慣れたお兄ちゃんのスニーカーが目に入った。

「なんだ、お兄ちゃん帰つたのか。今日は早いんだ」と何の気なしにひとり言を言つて、目がくぎづけになった。玄関のたたきの隅に眼底に焼きついている塚本さんのリーガルの革靴があつたのだ。来てるんだ。

思わず時計を見た。六時前だった。

どうして今日はこんなに早いのかしら、とどこかで思いながら、今会つたばかりの白井さんの顔と声が洪水のように私の頭の中にあふれかえつた。

二階への階段を上がりそうになって、雷にうたれたように、立ちすくんだ。お兄ちゃんの部屋がしんと、そしていて、その中で二人が息をひそめているような気が突然したからだ。ある怖しい考えが浮かんだ。

私は階段を上がるのをやめてリビングに行った。

やや間があつて、塚本さんの声が、少し調子の高い声で、した。数学の問題の説明をしていた。

リビングのソファに向かってベランダのガラスから外を見た。薄く曇をはいたような夕闇をバックに私の顔が浮かんだ。それにダブつてママの顔と、そして、きれいにメーキャップしたお兄ちゃんの顔が浮かんだ。